

金貸しです。金利はまけますから皆さん御利用願います。何か広告みたいになりましたね。

吉田秀太郎氏

大正三年に鈴木商店へ、布引のオリベヤから栄町の店へ歩いて通いました。まだ電車は無かったですよ。歌を唱いながら花隈の街を通りました。金子さんが天下三分を提唱せられた頃はロンドンに居りました。高畑さんの許でこの三分に協力努力した一人として今でも私は誇りと思つて居ります。どうか後継の日商岩井はこの天下三分に向つて金子翁の遺訓達成に須らく邁進せられん事を切に望みます。



山成卓爾氏

海通岸りの店の頃会計に行つて賀集さんも居りましたが日野さんにボリーナスの前借り頼んだらボロクソに叱られました。今日はこんなに良い環境の中で極めて御元氣な賀集さんを始め皆さんに御目にかかれてこんな嬉しい事はありません。

総野和一郎氏

永らく出席しませんでした。私は大阪の店に居りました。神戸では賀集さん、西川さんを良く存じ上げて居ります。一昨年北京

都へ旅行中宿屋の階段の六段目より落ちて足を折り漸くなおりました。会にもこれから出席する積りでです。

大家実氏（始めて出席）

私は、たいけみのと申しまして下関の店に居り、スクラビールから京城支店に、そこで解散この度前から申込みすべき処今回入会宜敷く。

昼食をやりながら水戸屋敷の解説を東京史跡研究会々長の宮城島文夫氏から約三十分ばかりお話を聞き終つて、庭内へ、桜は既に散つ

出席者（四六名・来賓一名）

講師 宮城島文夫

西村正一	難波寿一	田子富彦
同夫人	今村頼吉	賀集益藏
佐野茂幸	佐々木義彦	吉田秀太郎
同夫人	米田豊	藤芳新吾
瀬戸口又	遠藤龜三郎	大家実
同夫人	富樫三郎	原田直吉
上野欽資	村上忠司	広野敬吾
同夫人	岡一男	久野琢磨
河合一雄	楠本直美	小島輝男
石田俊一	斎藤席吉	菊地輝男
鈴木丸衛	北西佐久	同夫人
同夫人	山内義治	鍋島亮三
山成卓爾	嶋下元徳	同夫人
同夫人	田代義雄	総野和一郎

完成しろと云うのが目標でありましたが、其の技術は今や本家のアメリカより日本の方がずつと発展して来たような次第でありまして、アメリカより日本に入つて来るものは殊にやかましく云つて居るのは農産物であります。

工業産品としては非常に大型の計算機それから飛行機及び其の部品丈けでありまして其のものはアメリカの技術を導入したもので日本で完成したもののみならずアメリカへ、鉄鋼だつても弱電機製品、繊維、之れはアメリカやヨーロッパから持つて来たもので何だかアメリカは日本に対しては農産物のような感じがするようになって来た。然し世界の通貨はドルであります。然し世界の通貨はドルであります。然し世界の通貨はドルであります。

金貸しです。金利はまけますから皆さん御利用願います。何か広告みたいになりましたね。

労働に患ひされて益々アメリカの経済の復興と云ふものは難かしい。然しドルはアメリカの通貨であります。

日本はドルを一六五億ドル持つて居ります。これが五億ドル位は金塊を持っているとしてあとの一六〇億ドルはみなドルで持っている。こう云うようなことになってきますと、これから先の経済は非常に難かしいことになってくるのではないかと思います。思うに十九世紀の終り頃は吾々は子供でよく知らないですが第一次世界大戦の始まる迄はイギリスは世界を征服していたのですが其のイギリスが今日ではもう世界の経済国としての標準から遙かに落ちている。

アメリカもそう云う轍を踏むのではないかも知れんと思うのであります。それはやっぱりこの現代のアメリカでは労働が大きな問題になっている。

然しアメリカでは自然的条件に恵まれて広大な土地を持つて居る。農産物なんかは合理化した大きなスケールで性能化した生産性の高い産業でありますから、それを日本に持つてきて日本より遙かに安いものが出来る。日本は土地が狭いのですからアメリカみたいになつたらどうなるかと云うと

日本の集約農業などではとても世界の国際競争には耐えられない。これが私は将来大きな問題ではなからうかと思う。アメリカの何で労働が高いかと云うと考へて見ると、食も或は日本の方が進んでいるかも知れん、只だ住居の問題ですが私の方で調べさせましたがジョイントベンチャーでやっているのが二社ほどあります。そこで聞いて見ますと冷暖房設備の如き日本では必要な部屋丈しかやらんがアメリカでは全館冷房で又冬も薄着で済ませるようにするなど冷暖房装置に高い金をかけるなど生活様式が日本と大分ちがう様式である。労働の高いのはそれだけではないのでレジャーをロサンゼルスあたりでは週三日のレジャーであり、レジャーが多いと生活費も高くなる。日本も週二日制というのがややかましく問題になっている。

そこで考へなければならんことは労働者の賃銀も世界的趨勢に應じて上げなければならんけれどもアメリカの様になつてくると化学技術が非常に各社共進んで来て生産性の程度は大分標準になつてくる。そうするとそれだけの労働も上がつて来る。だからこれから日

たあとであるが新緑は目覚めるばかり、隣は野球場の後楽園スタジアムであるが此処の静けさは格別で周遊庭園の範としての築造は度

東京辰巳会に於ける賀集益藏氏所感

私は大正八年鈴木商店に入り、爾来ずっと経理の仕事を担当させて頂きました賀集で御座います。いつも辰巳会より御通知は頂いて居りましたが何かと雑用に紛れ今まで御無沙汰致して居りまして甚だ相済みませんと思つて居ります。この前も是非出席し度いと思つて居りましたが、つい手帳に秘書が書き入れるのを失念して甚だ申し訳ないと思つて居たところ、鈴木（丸衛）さんからなせ出て来ないのか御叱りを受けてまして今度は御通知を頂くと同時に手帳に書き入れまして本日出席した次第であります。何か感想を申し上げることですが皆さんは長いこと鈴木商店におつとめになつて居られたので鈴木商店の過去を追想するということは皆さんの方が良く御存じです。只だ私が此の頃痛切に感じたこと、二申し上げますと、今度ドルショックによつて相当不況になつて居ります。時々私のような老齢者ですが通産省より呼出しを喰つて時々会議に出るんで

々の災火に遇いながら今は都の管理の下に園内の補修も整いたる中を三々五々探勝散策して解散した。（斎藤記）

本労働の問題も非常に難かしいものになつて来る。日本の経済の消長は労働者によつて握られる、と云うことになつて来る。最近私がちよこちよこ顔出す場所での私の痛感したところを申述べた次第であります。（昭和四十七年四月十一日録音より）

中部支部懇親会

昭和四十七年四月一日
於 第一楼

時あたかも陽春四月一日この日中部支部懇親会を催す。会員は遠く福井市より岡崎市よりはせ参じ、地元会員あわせて十一名、本部より四名東京支部より二名の賓客を迎え更に花を添えらる。当日春陽の花に逆らい伊吹おろしの返り寒風中京の空に舞い時ならぬ落花を誘う。午後二時車をつらね名古屋城に遊び、遠来の客をねぎらう。東に遠く御嶽の雲峯白雪に映え、西鈴鹿の連山に馬子唄の昔を偲ぶ。足下に目を転ずれば名園の姿八分咲きなる桜花にはえて徳川家康の面影を残す。四囲高樓屹立し、二百万市民の息吹き肌を感じ、青年都市の躍進のあたり覚ゆ、大いなる田舎を脱却し、今や

中京の名にふさわしき景観を呈す。

車をかえして午後五時中心繁華街グラントビル八階第一楼の会場につどろ。一報のあと伏見幹事より開会の挨拶に始まり、伊藤幹事の支部報告、物故会員に黙禱、秋元支部長より挨拶、続いて本部柳田幹事より祝辞のあと木畑幹事より今後の方針につき談話と会は和気あいあいの裡に進捗、終つて宴に移る。此の時会員伏見俊助、佐藤亮次両氏喜寿の大杯を贈られしを祝し一同その長寿弥栄にあやからんと大杯に緑酒をみだし乾杯

